



会社案内

Touching Innovation





取締役社長

小山 亨

## 世界のお客様へ「安心」「安全」「快適」をお届けします

1949年の創立以来、「限りない創造 社会への奉仕」の社是のもと、主にゴム・樹脂の高分子技術を用いた自動車部品の提供を通じて社会に貢献し、現在では世界17ヵ国／地域に61のグループ会社が事業を展開しています。自動車業界が、自動運転や電動化の進展による大変革を迎えるなか、この大きな波をチャンスと捉え、事業環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、将来にわたる持続的成長を実現するため、従業員4万人が総力を結集して、世界のお客様へ「安心」「安全」「快適」をお届けするグローバルカンパニーを目指しています。

### 経営理念

### 限りない創造 社会への奉仕

- |       |  |             |   |  |                |
|-------|--|-------------|---|--|----------------|
| 1     | 私たちは、良き企業市民として、各国・地域に根ざした事業活動および社会貢献活動により、経済・社会の発展に貢献します。    | 社会への<br>貢献  | 4 | 私たちは、変化を先取りした研究開発とものづくり技術により、お客様に満足いただける品質・価格で、タイムリーに商品・サービスを提供します。          | お客様の<br>満足     |
| <hr/> |  |             |   |  |                |
| 2     | 私たちは、法令の遵守や企業倫理の徹底に向けた体制を構築し、誠実な事業活動を行います。                   | 適正な<br>事業活動 | 5 | 私たちは、環境に配慮した製品の提供と工程づくりに努め、あらゆる企業活動を通じ、社会と連携して環境・資源を保全し、豊かな地球を未来に残すことに貢献します。 | 地球環境・<br>資源の保全 |
| <hr/> |  |             |   |  |                |
| 3     | 私たちは、仕入先様とのオープンで対等な関係を基本に、互いに企業体質の強化・経営の革新に努め、グループの総合力を高めます。 | 持続的な<br>成長  | 6 | 私たちは、労使相互信頼・責任を基本に、一人ひとりの個性を尊重するとともに、チームワークによる総合力を高め、活力と働きがいのある企業風土を実現します。   | 人間の<br>尊重      |

### 目次

ご挨拶・経営理念	2	事業領域	8
持続可能な社会の実現に貢献するために	3	製品紹介	10
サステナビリティ	3	沿革	20
ESG	4	グローバルネットワーク	22
2025事業計画 (中期経営計画)	6	会社データ	25

# 持続可能な社会の実現に貢献するために

豊田合成は経営理念に基づき、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、国際社会が目指す共通の目標「持続可能な開発目標(SDGs)」で示されるグローバルな課題の解決や、ESG(環境・社会・ガバナンス)領域に率先して取り組んでいます。2018年には中期経営計画「2025事業計画」を策定し、「イノベーション・新モビリティへの挑戦」「伸びる市場・伸ばせる分野へ重点戦略」「生産現場のモノづくり革新」を活動の3本柱に、社会課題解決を通じた持続的な成長の実現を目指しています。今後も、適切なガバナンス体制のもとで、お客様・株主・投資家・従業員・サプライヤーといった世界中のステークホルダーの皆さまからの期待に積極的に応えていきます。



## ◆ サステナビリティ

ステークホルダーからの期待と当社の目指す姿を踏まえ、グループとして優先すべきマテリアリティ(重要課題)を選定し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

	SDGs 最重要分野	マテリアリティ (重要課題)	主な取り組み
事業活動		クルマの様変わりへの対応・ 交通死亡事故の低減による 安心・安全・快適な モビリティ社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な事故を想定したエアバッグ製品などの安全デバイスの開発</li> <li>大人から子供までさまざまな乗車姿勢に対応した安全デバイスを実現するためのシミュレーション技術の開発</li> <li>自動運転に対応した先進安全技術の開発</li> </ul>
		コア技術を活用した 新規産業の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>CASE・MaaS対応のモビリティ商品の開発</li> <li>e-Rubber応用製品の開発・事業化(スマートインソール、心臓手術シミュレータ等)</li> <li>GaNパワーデバイスの開発・商品化、UV-C(深紫外線)LEDを用いた空間除菌装置、水浄化ユニット、表面除菌装置の開発</li> <li>コア技術とのシナジーを狙いといたスタートアップ企業との協業</li> </ul>
	 	CO <sub>2</sub> 排出量削減・ 温室効果ガス排出量削減による 脱炭素社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>FCEVの心臓部にあたる高圧水素タンクの開発・量産化</li> <li>燃費向上につながる製品軽量化の推進(軽量パネル、樹脂フェューエルファイラーパイプ等)</li> <li>カーボンニュートラル達成に向けた省エネ革新工法の確立と展開の推進</li> <li>革新技術の導入と日常改善、IoT・AIによる生産性向上による画期的な省エネ</li> <li>太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入</li> </ul>
		廃棄物低減・水リスク低減による 循環型社会の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産工程での廃棄物極小化に向けた「廃棄物低減プロジェクト」の推進(ウェザストリップの廃材の有効活用、めっき工程で発生する廃材の極小化検討)</li> <li>ゴムの脱硫再生技術を活用したゴム材料へのリサイクル技術の適用</li> <li>易解体できる製品設計、環境にやさしい材料の活用による製品設計・開発の推進</li> <li>専門チームによる水使用量ロスの改善やリサイクルの推進</li> <li>端材(エアバッグの基布・革など)を利用した商品づくり(エコバッグなど)</li> </ul>
		雇用の創出・社会貢献活動による 地域社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンゲージメントサーベイの実施による従業員の働きがい向上</li> <li>仕事のコミュニケーション力向上を通じた風土改革</li> <li>新興国での事業展開と雇用創出</li> <li>地域行政や社会福祉協議会と連携したボランティア活動(全社一斉清掃、地域防犯、献血、出前教室)</li> <li>命の源である水で活動をつなぐをスローガンに自然共生活動を推進(里山づくり、工場の森づくり、河川や干潟の保全等)</li> </ul>
		多様な人材の活用推進・ 人権保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル経営幹部人材の育成(将来の幹部候補人材の育成プログラム)</li> <li>女性従業員のキャリアアップを促し、働きがいを感じられる仕組みづくり</li> <li>シニア人材活躍促進のための人事諸制度見直し</li> <li>グループ全体での障がい者雇用促進と働きやすい職場環境づくり</li> <li>監督者・リーダー層へのハラスメント防止説明会と実践研修</li> </ul>
		誠実な会社としての コーポレートガバナンス・ コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>「内部統制委員会」を中心としたコンプライアンスの徹底とリスクの低減活動</li> <li>「危機管理対応ガイド」制定によるリスクへの対応力強化</li> <li>「豊田合成グループ行動憲章」「豊田合成行動倫理ガイド」の策定・啓発</li> <li>コンプライアンス相談窓口(社内外)の設置による法令違反・不正行為等の早期発見と是正</li> </ul>
経営基盤			

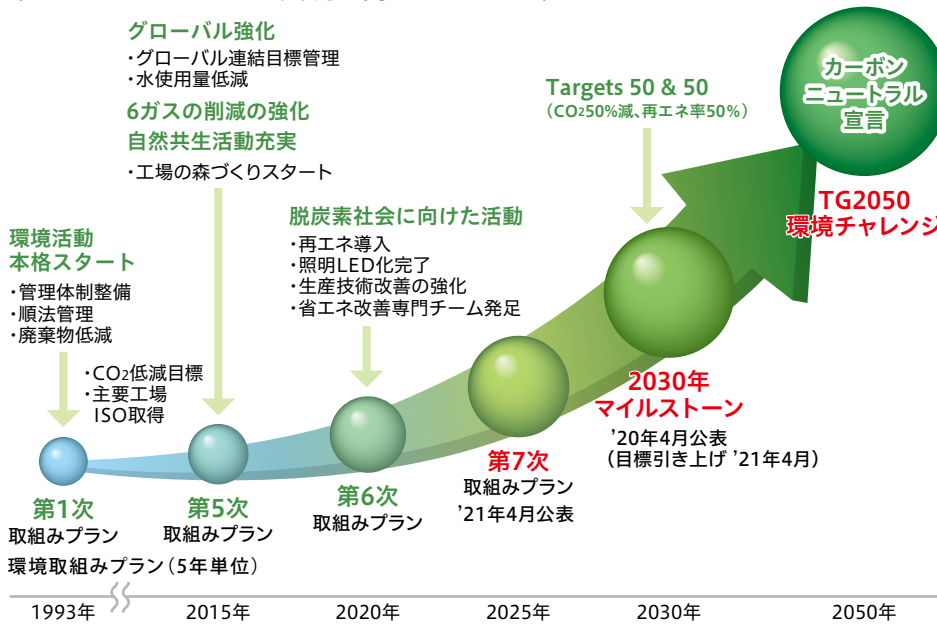
## 環境保全〈E〉

### カーボンニュートラルの実現に向けて

2050年までにCO<sub>2</sub>排出量をゼロにする目標「TG2050環境チャレンジ」を掲げています。そのマイルストーンである2030年までの中間目標「Targets 50 & 50」として、「CO<sub>2</sub>排出量50%削減（2013年度比）」と、「その実現に向けた重点取り組みである“再生可能エネルギー由来の電力利用率50%”を策定しました。クリーンエネルギーを活用した発電設備や消費電力の少ない生産設備の導入、設備のコンパクト化などの生産技術革新の推進、車の電動化に対応した製品開発などを行っていきます。

さらに、今後5カ年の環境取り組みプランのなかで、2025年までに「CO<sub>2</sub>排出量を25%削減（2015年度比）」する目標を設定しており、脱炭素に向けた取り組みを加速させていきます。

### 〈カーボンニュートラル実現に向けたシナリオ〉



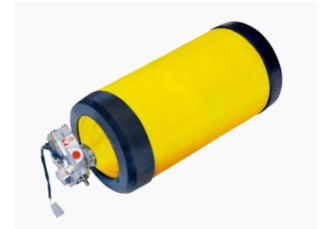
### TG2050 環境チャレンジ

CO<sub>2</sub>排出量のゼロ化など6つの高い目標を掲げ、長期的視点で環境保全の取り組みを推進



### 製品・技術

環境社会への貢献につながる製品などの開発



高圧水素タンク

燃料電池自動車の主要部品のひとつで、水素を高圧で圧縮して効率的に貯蔵

### 脱炭素社会

設備工程の省エネ化や再生可能エネルギーの導入



太陽光発電設備

国内外で積極的に導入

### 循環型社会（排出物）

生産技術の開発や廃材のリサイクルなどによる排出物の低減



ウェザストリップ廃材のリサイクル

ゴム・樹脂と金属を分離する技術などを用いたリサイクル

### 循環型社会（水）

水リスクの低減や水の再利用など



排水処理設備

めっき工程の排水を浄化し、生産用に再利用

### 環境保全・自然共生社会

法規制などに則った化学物質管理や生態系の保全



里山づくり

放置された里山の再生と豊かな水の確保を目指し、従業員が森林整備を実施

## 事業を支える人・職場づくり〈S〉

### モノづくり技能の向上

生産現場の競争力の源泉である技能者の腕と心を磨く企業風土づくり



#### 金型保全技能競技会

各製品領域などから選抜された技能者が金型仕上げの腕を競う

### グローバル共通教育

世界を舞台に活躍できる人材の育成



#### ミドルマネジメント研修

海外の現地マネージャーを対象に管理職に必要な知識・能力向上

### ダイバーシティ

「女性従業員の育成」「上司の意識向上」「職場風土づくり」の3つを柱に活動



#### 職場カイカクマネジメント塾

管理職有志がワーキンググループを立ち上げ、多様性の尊重を後押し

### 障がい者雇用

計画的な採用と教育・環境改善を継続的に推進



#### 手話コミュニケーション

日常で使える手話を昼礼などで練習

## 住みよい地域づくり〈S〉～地域との共生～

### 社会福祉

地域の人々と助け合い、ともに生きる社会づくり



#### 車イスドクターズ

地域の福祉施設を毎月訪問し、年間500台以上の車イスを修理・清掃

### 青少年育成

地域の子どもたちの健全な育成の支援



#### 一宮少年少女発明クラブ

子どもたちが創造性豊かな人間に成長するために、モノづくりに触れる機会を提供

### 地域防犯

誰もが、より安全で安心して暮らせる街づくり



#### 防犯パトロール

所轄警察署による指導の下、事業所周辺を徒歩や車両でパトロール

### 災害復興支援

被災地での支援など継続した活動



#### 物産販売・被災地への寄附

被災地産物の社内販売イベントや現地への寄付等を毎年継続的に実施

## ガバナンス〈G〉

### 豊田合成グループ行動憲章

豊田合成グループ共通の価値観と行動規範を明確化し、グループ従業員に周知・啓発



#### 行動憲章

従業員一人ひとりが高い倫理感をもつて行動できるよう従業員に冊子やPDFを配布

### コンプライアンス教育

役員・従業員への啓発



#### 独禁法研修

各国・各社のリスクに応じた計画的な啓発活動

## スポーツ

### スポーツ振興

従業員・地域の一体感を醸成するなど、明るく豊かで活力ある社会の実現に向け活動。シーズンオフには地域の小中学生を対象にスポーツ教室の実施や交通安全教室などに協力



#### バレーボール ウルブドッグス名古屋

Vリーグ所属。2015年のリーグ初優勝以来、優勝争いの常連



#### ハンドボール 豊田合成ブルーファルコン

日本リーグ所属。2021-22シーズン優勝。2年連続日本選手権との2冠も達成



#### バスケットボール 豊田合成スコピオンズ

B3リーグ所属。2018-2019レギュラーシーズン準優勝

# ◆ 2025 事業計画（中期経営計画）

## 目指す姿

大きな環境変化に柔軟かつ迅速に対応し、世界のお客様へ「安心」「安全」「快適」をお届けするグローバルカンパニー

## 活動の柱

活動の柱Ⅰ	<b>イノベーション・新モビリティへの挑戦</b> 【新技術】 【新製品】 ● コア技術を活かした新領域での事業化 ● CASEに対応した新技術・製品開発 ● モジュール・システム化戦略の推進	● グローバル事業運営の強化 ● 人材育成 ● 誠実な事業活動 <b>活動を支える事業基盤の強化</b>
活動の柱Ⅱ	<b>伸びる市場・伸ばせる分野へ重点戦略</b> 【既存製品】 ● 経営資源の選択と集中の徹底 ● 既存製品の高付加価値化 ● 顧客・パートナーと連携した事業企画	
活動の柱Ⅲ	<b>生産現場のモノづくり革新</b> 【既存製品】 ● 生産ノウハウ・プロセスのグローバル統一 ● TPSの更なる推進 ● ITの活用と自動化・省人化 ● 生産技術革新・再エネ活用等による環境負荷低減	

## 経営目標

	2017年度 (日本基準)	2025年度 (IFRS)
売上収益	8,069億円	▶ 1兆円以上
営業利益率	5.1%	▶ 8%
ROE (自己資本利益率)	6.6%	▶ 10%

## 財務方針

株主還元	当面の株主還元については、連結配当性向30%以上を基本とし、様々な観点からトータルとして株主に報いるように取り組む。
設備投資	成長に向けた設備投資の原資として、2025年度まで年500億円を確保する。
手許資金	取り巻く環境を鑑み、リスク対応資金も含め、連結月商+300億円程度の現預金*を確保する。 *（一年以内の）短期借入金は除外

## 活動の柱Ⅰ イノベーション・新モビリティへの挑戦

### イノベーションへの挑戦

これまでに培ってきた高分子・LED分野での知見を活かし、安心・安全で快適な社会に貢献する革新的な新技術の実用化を目指しています。

### UV-C（深紫外線）LED

～環境負荷の低い新たな光源～

ウイルスや細菌の遺伝子情報を壊す波長の短い紫外線の特長を活かし、水の浄化や空気清浄、物の表面除菌など、幅広い用途への応用に取り組んでいます。



UV-C LED 光源モジュール

#### 活用が期待される領域



### e-Rubber ～電気と力で機能する次世代ゴム～

従来にない軽くて柔らかい「センサ」としての特長を活かし、スポーツや予防医療などのヘルスケア分野を中心に製品開発を進めています。



スマートインソール

### 新モビリティへの挑戦

自動運転や電動化などのクルマの変化に対応するため、強みであるゴム・樹脂のコア技術を磨くとともに、お客様や専門メーカーとも連携し、スピード感をもって新製品の開発に取り組んでいます。

### CASE対応技術



#### 次世代セーフティシステム

自動運転時に想定される乗員の姿勢の多様化に対応するため、エアバッグをシートに一体化しています。



#### 次世代ハンドル

人とシステムが協調して車を操作するための「ヒューマン・マシン・インターフェイス機能」を付加しています。カメラとセンサでドライバーの状態を感知する「見守り機能」や、光や振動などで情報を提示する「インフォメーション機能」を搭載。



#### 次世代フロントグリル

カメラやミリ波レーダなど周辺状況を認識する「センシング機能」や運転状態をLEDの光で周囲に伝える「サイネージ機能」などを搭載しています。

\*写真はBEV対応フロントパネル

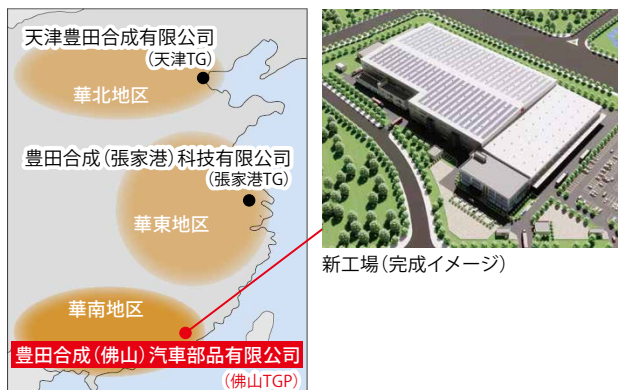
## 活動の柱Ⅱ

# 伸びる市場・伸ばせる分野へ重点戦略

北米や中国など重点市場や世界的な安全規制の強化を背景に需要が拡大するセーフティシステムでの更なる事業拡大を目指しています。

## 中国華南にエアバッグの新工場を設立

世界最大の自動車市場として成長を続ける中国において、主力製品であるエアバッグとハンドルの生産体制を強化するため、広東省に新工場を設立します。新工場は、豊田合成(佛山)自動車部品有限公司の分工場として設立し、2023年夏頃から生産開始予定です。中国全体での安全規制強化と、華南地域における自動車生産の拡大による、エアバッグの需要増に対応します。



中国におけるセーフティシステム製品の生産拠点

## 歩行者保護エアバッグを実用化

車が歩行者に衝突した際に頭部を守る「歩行者保護エアバッグ」を開発しました。これまでも乗員を保護する各種エアバッグを実用化してきましたが、今回初めて、歩行者などの交通弱者を保護するエアバッグを市場投入しました。日本の交通事故のうち、死者が最も多いのは歩行中で、主な原因は頭部の損傷です。歩行者保護エアバッグは、特に致命傷につながりやすいフロントピラーなどの硬い部位をエアバッグで覆い、その内圧を部位ごとに最適に調整することで、頭部への衝撃を軽減します。



## 活動の柱Ⅲ

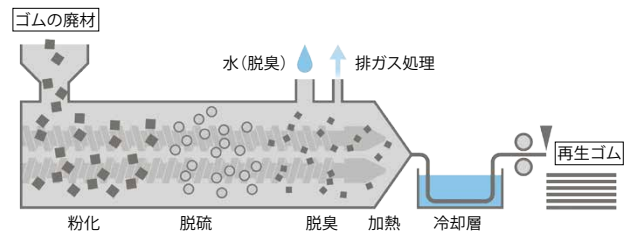
# 生産現場のモノづくり革新

IT(IoT・AI)などの最新技術を活用した工程の自動化・省人化および改善などを進めています。

## 廃棄物低減の中間目標達成に向け、ゴムのリサイクル工程を本格稼働

2030年までの廃棄物50%削減(2012年度比)を目指し、2021年4月に各種ウェザーストリップ製品のリサイクル工程を専用棟に集約、リサイクル率の向上を進めています。当社の独自技術によって廃棄ゴムを原材料に戻し新たな製品に活用することで、年間約6,000トンの廃棄物低減効果を見込むほか、原材料の輸送や廃棄物焼却時のCO<sub>2</sub>低減効果も見込んでいます。また、自社での活用にとどまらず、再生ゴムを他社に販売するなど、業界全体での環境負荷低減にも貢献していく計画です。

リサイクル工程のイメージ



## 自動化などにより省人を推進

2022年6月に稼働開始した豊田合成東日本(株)宮城大衡工場をはじめ、新たに立ち上げる工程については、設計段階から自動化しやすい製品仕様を追求し、部品・材料の投入から完成品の出荷までをトータルで自動化する生産工程の実現を目指しています。一方で、既存の工程については、TPSの改善手法を駆使して、人でしかできない作業と、それ以外の作業を分離、集約し、協働ロボットとからくり改善を融合した省人工程を低投資で実現していきます。

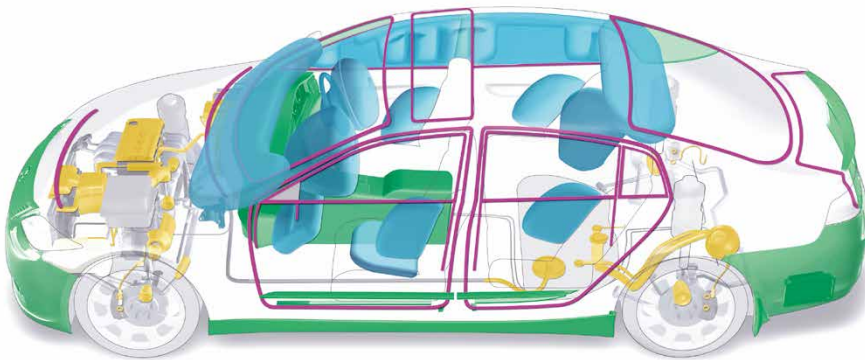


豊田合成東日本(株)宮城大衡工場(完成イメージ)

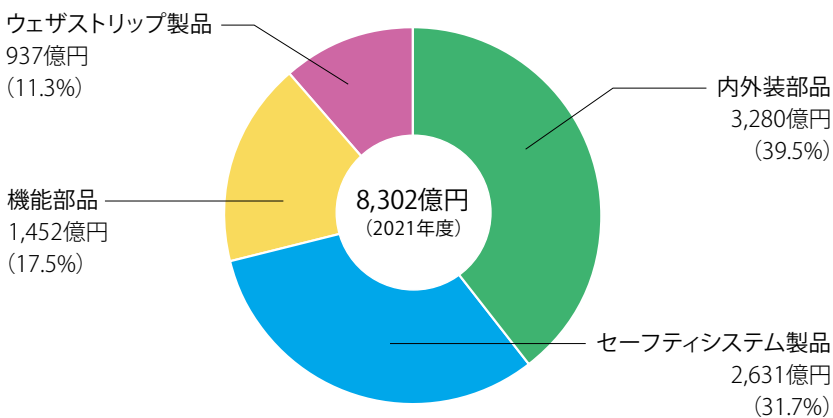
# 事業領域

## ゴム・樹脂の自動車部品を 開発・生産しています。

開発から生産まで一貫したモノづくり体制を整え、  
安心・安全で快適なクルマづくりなどに貢献する  
様々な製品を提供しています。



製品領域別売上収益(売上比率)



### 自動車部品



ウェザストリップ製品



機能部品



内外装部品



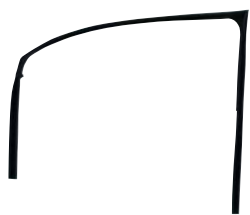
セーフティシステム  
製品

### その他

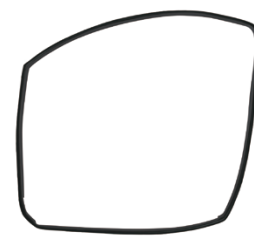


LED製品





ドアガラスラン



オープニングトリムウェザーストリップ



樹脂フューエルフィルターパイプ



樹脂ターボダクト



ブレーキホース



高圧水素タンク



インストルメントパネル・構成部品



ラジエータグリル



コンソールボックス



各種エアバッグ



ハンドル(エアバッグ内蔵)



ポップアップフードアクチュエータ



空気清浄機(特機製品)



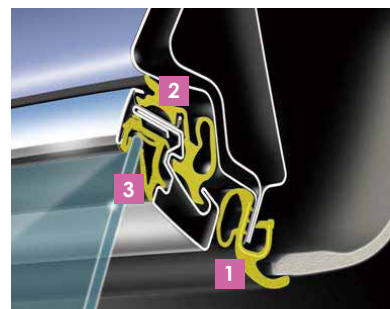
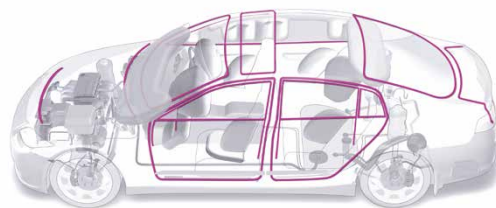
e-Rubber製品



エコブランドRe-S(リース)

# ウェザーストリップ製品

ドアや窓枠に装着して隙間をふさぎ、雨・風・騒音を遮断。  
快適な車内空間に不可欠な部品です。



ヒドゥンドア



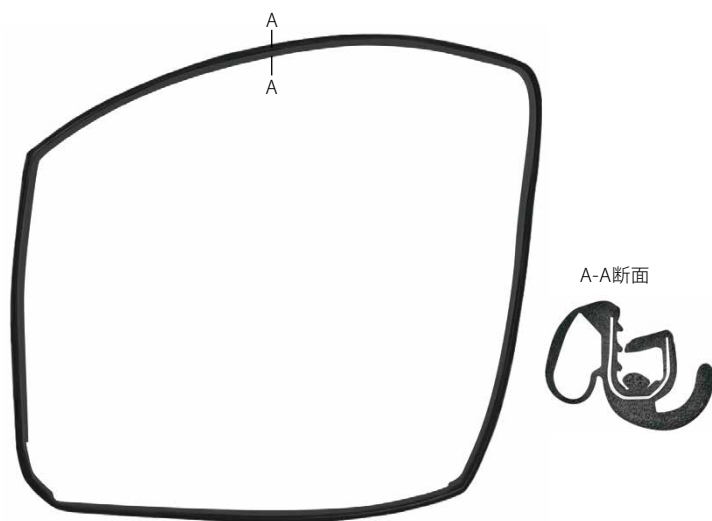
サッシュドア



プレスドア



サッシュレstdア

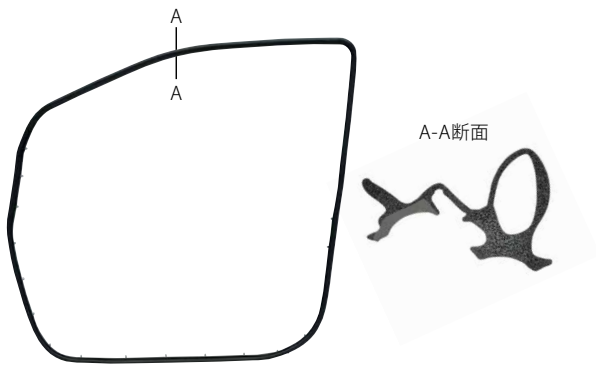


▶ A-A断面図

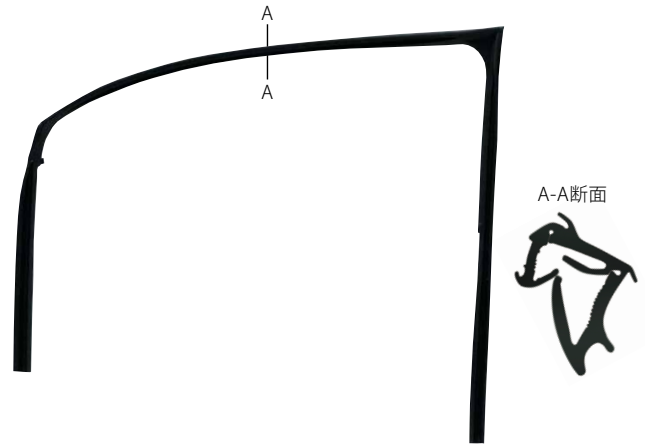
発泡ゴム

## 1 オープニングトリムウェザーストリップ

材料開発や生産技術によりゴムを発泡化し、約30%軽量化しました。



2 ドアウェザストリップ

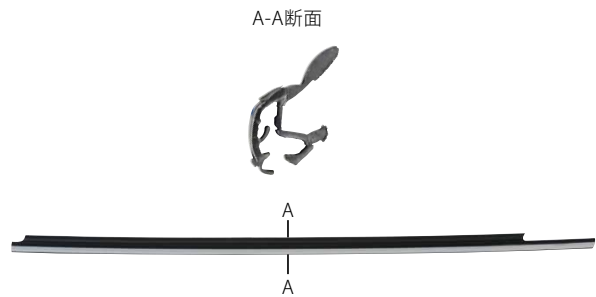


3 ドアガラスラン

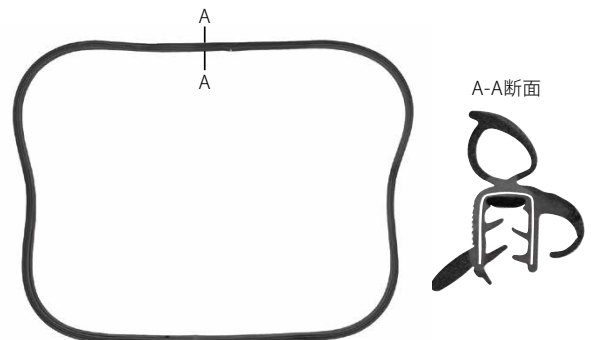
ゴムと樹脂の混合材の採用や低比重化などにより、約30%軽量化しました。



5



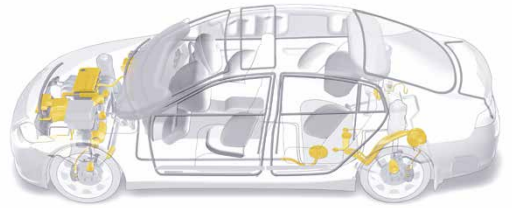
4 アウターウェザストリップ



5 ラゲージウェザストリップ

## 機能部品

「走る」「曲がる」「止まる」といったクルマの基本性能をサポート。重要な保安部品として、高い品質を確保しています。



### 燃料タンク周辺部品



フューエルホース&チューブ  
(写真はエンジン側ホースを含む)



ロックナット・ポンプガスケット



カットオフバルブ



フューエルフィルターキャップ



キャップレス給油口



フューエルフィルターホース



インレットチェックバルブ



フィルリミットベントバルブ



### 高圧水素タンク

燃料電池自動車 (FCEV) の主要部品のひとつ。水素を高圧(約700気圧)で圧縮して効率的に貯蔵します。



### 樹脂フューエルフィルターパイプ

特性の異なる部分(柔軟部・剛性部・ストレート部)の一体成形により強度を確保。パイプの多層構造により樹脂の耐燃料性・耐久性を向上し、従来の金属パイプより約50%軽量化しました。

## エンジン周辺部品



## シャシー・ドライブトレイン系部品



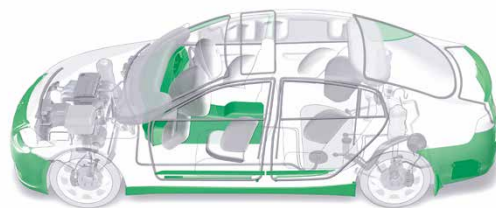
### ブレーキホース

「止まる」に直結する重要な部品であり、500万回以上の耐久試験をクリアしています。



## 内外装部品

快適で魅力的な車内空間と外観の実現に貢献します。



### 内装部品

インストルメントパネル・構成部品



デフロスタノズル



オーナメントパネル



レジスタ



メータクラスタ



カップホルダー



Grabボックス

### コンソールボックス

収納扉は日本古来のからくり技術を用いることで、モーターなどを使わずスムーズに開閉。革・木目調パネルにより高級感を演出します。





LEDルームランプ



LEDランプユニット



イルミスカッププレート



フロントピラーガーニッシュ



アシストグリップ

## 外装部品

### ラジエーターグリル

めっきや塗装などの加飾技術と精密な成形技術により様々なデザインに対応できます。



バックドアガーニッシュ

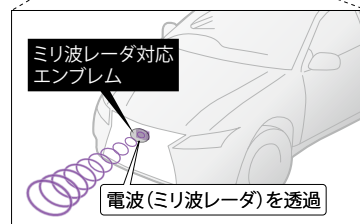
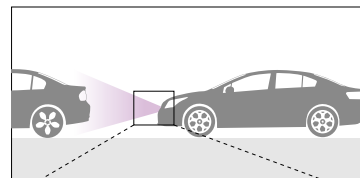


リアスポイラー

### 各種エンブレム

先進運転支援システムを支えるミリ波レーダ\*の「透過機能」とめっき調の「意匠性」を両立させたエンブレムのほか、「発光機能」を持たせたエンブレムをラインナップに加えました。

※進路上の先行車や障害物を検知する装置



ミリ波レーダのイメージ

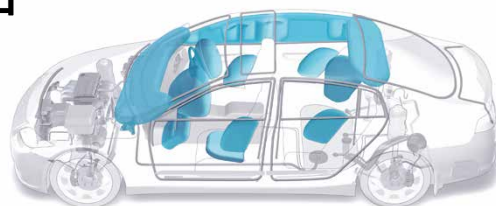


発光エンブレム

## 🚗 セーフティシステム製品

各種エアバッグにより、様々な角度の衝突から乗員を保護する360度フルカバーを実現。

さらに歩行者を保護するエアバッグなども提供しています。



### 乗員保護



1 運転席用エアバッグ



2 カーテンエアバッグ

展開シミュレーションなどの解析・評価技術により、側面衝突時の頭部への衝撃を緩和します。



### 新構造の運転席エアバッグ

前方からの衝突時に瞬時に膨らみ頭部や胸部への衝撃を軽減する従来の機能に加え、膨らんだ際の球面にドーナツ状のくぼみを設けることで斜めからの衝突時に頭部の回転を最小限に受け止めることが可能です。



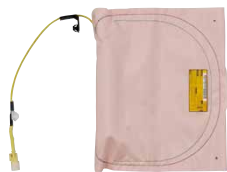




3 助手席用エアバッグ



4 ニーエアバッグ



5 シートクッションエアバッグ



6 サイドエアバッグ



7 後席センターエアバッグ



8 後突エアバッグ

## ハンドル

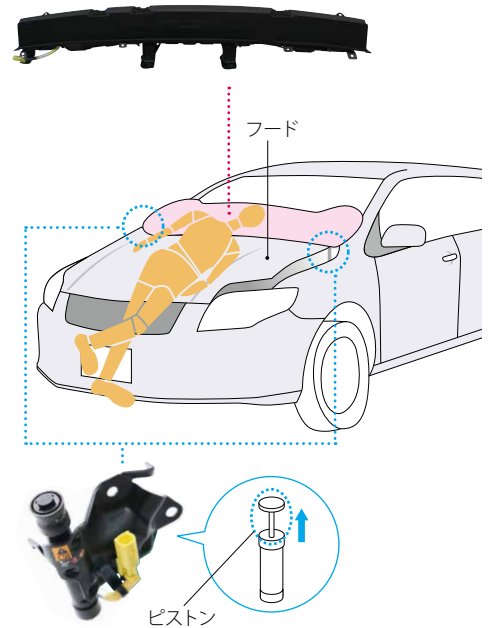
本杢・革・木目調など魅力的なデザインのハンドルをラインナップし、幅広いお客様に採用いただいています。



## 歩行者保護

### 9 歩行者保護エアバッグ

フロントピラーなどの硬い部分をエアバッグで覆い、歩行者の頭部などへの衝撃を軽減します。



### 10 ポップアップフードアクチュエータ

フードを持ち上げてエンジンとの間に隙間を広げ、歩行者の頭部などへの衝撃を軽減します。



## LED製品

ウイルスや細菌を除菌できるUV-C(深紫外線)LEDをはじめ、新たな付加価値を持つLEDを開発・販売しています。



水浄化 空間除菌 表面除菌

### UV-C LED光源モジュール

防水・放熱などの機能を備えたLEDモジュール。



水浄化

### UV-C LED水浄化ユニット

UV-C LED光源モジュールを搭載した、水の浄化(飲料水、生活用水、排水等)用途のユニット。



空間除菌

### UV-C空間除菌装置

フィルターで捕らえた細菌・ウイルスに深紫外線を照射し空間を除菌。



### 太陽光LED

独自技術で自然光を再現したLED。赤・緑・青の蛍光体に紫色の光を当て太陽光に近い色味を実現。



空間除菌

### UV-Cパーソナル空間除菌脱臭装置

深紫外線と光触媒作用でのダブルの脱臭・除菌効果を搭載。軽量(300g)で持ち運び可能、便利なUSB給電です。



表面除菌

### UV-C高速表面除菌装置

小物やスマートフォンを投入後わずか7秒で上下両面のウイルスや細菌を99.9%以上除去。



表面除菌

### UV-C除菌BOX

携帯電話や時計など、身の回りの小物に深紫外線を照射し除菌。



### 太陽光LEDデスクライト

「太陽光LED」を搭載。ブルーライトが少なく、目に優しい光です。

## 特機製品

自動車部品で培った技術を活用し、新たな分野の製品を開発・販売しています。

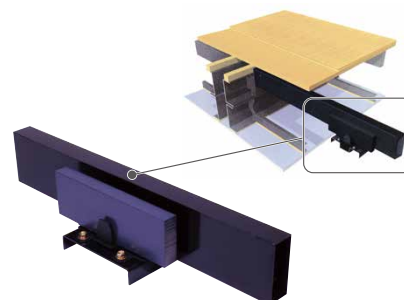


### 空気清浄機

機能・デザイン・カラーなど多様なバリエーションに対応しています。



農機・建機・産機の内外装部品



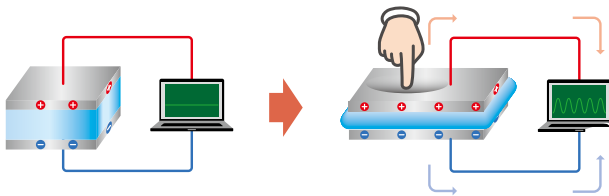
### 住宅用ダイナミックダンパー

制振ゴム技術を応用した、住宅の上下階での床衝撃音を抑え、静かで快適な環境をつくるための製品です。

## 「e-Rubber」製品

電気と力で機能する次世代ゴム「e-Rubber」の開発を進めています。

センサ (力 → 電気信号)



押す／引き延ばす  
(電極にたまる電気の量が増える)

〈活用例〉



スマートインソール



体のバランスや体重移動などを可視化 (アプリ画面に表示)

## 「エコブランドRe-S」

廃棄物低減の一環として、エアバッグやハンドルなどの自動車部品の生産工程で出る端材を利用した商品を「Re-S」ブランドとして展開しています。Re-Sは「Re-born」や「Re-cycle」といった「Re」から始まる環境に優しい活動を進める、サステナビリティ(S)を高めるという意味を込めています。



オンライン  
ショップはこちら



トートバッグ  
(エアバッグ生地製)

障がい者施設「やまなみ工房」のアーティストなど、さまざまな業界とコラボレーションを進めています。



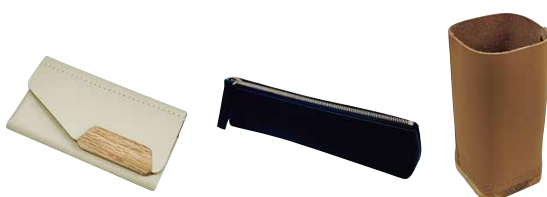
キャンプ用エプロン

(株式会社松デザインや株式会社アライブなどと共同で企画)



化粧用ポーチや  
レジャーシート、  
ランチョンマットなど

(金城学院大学の学生  
やアパレルメーカーの  
クロスプラス株式会社  
と制作)



ハンドル用の本革を用いた小物

# 沿革

## ▶▶ 会社のあゆみ

1949 トヨタ自動車工業の  
ゴム部門を母体に  
「名古屋ゴム株式会社」  
設立



名古屋工場全景

1957 春日工場稼働

1967 稲沢工場稼働

1973 「豊田合成株式会社」に改称

1976 森町工場稼働

1977 米国事務所設立(イリノイ州)

1978 名古屋証券取引所市場  
第2部に株式上場

1980 本사를現所在地  
(愛知県清須市)に移転



1982 尾西工場稼働

1985 台裕橡膠工業(株)に資本参加

1985 デミング賞実施賞を受賞

1986 TGMズーリ(株)設立

1997 ISO9001認証取得  
北島技術センター竣工



1999 東京証券取引所市場  
第1部に株式上場

ISO14001認証取得

豊田合成  
ノースアメリカ(株)設立

1950

1980

## ▶▶ 主な技術・製品開発のあゆみ

### ゴム分野

1950 ウェザストリップ  
1953 ブレーキホース



1959 スポンジゴムの  
自動成形技術

1961 ピストンカップ  
1963 植毛ガラスラン

1977 等速ジョイントブーツ

1982 遮音性ガラスラン

1997 ゴムリサイクル技術



### 樹脂分野

1954 樹脂射出ハンドルの  
生産技術



樹脂射出ハンドル

1960 PPハンドル  
1964 樹脂めっき製品  
1967 樹脂ラジエータグリル

1974 フルインストルメント  
パネル



1978 PPバンパー

1982 樹脂フェューエル  
フィルターキャップ  
1989 低騒音レジスタ



1989 エアバッグ  
ハンドル



2000 無反射吸気ダクト



1998 カーテンエアバッグ



### 新領域

1986 青色LEDの  
研究開発開始



赤崎教授による指導会

1991 青色LED開発の  
成功認定

1995 青色LEDの量産化



TGマークは赤色で「挑戦・情熱」、社名ロゴ  
タイプは青色で「信頼・品質・技術力」を表し  
ています。六角形は化学記号の「ベンゼン環」  
(高分子の原点となる六角形の構造体)を  
モチーフにしています。

- 2000 豊田合成ヨーロッパ(株)設立
- 2001 豊田合成アジア(株)設立
- 2005 ISO/TS16949認証取得
- 2006 豊田合成(上海)管理有限公司設立
- 2008 豊田合成ミンダインディア(株)設立
- 2009 美和技術センター竣工



- 2013 豊田合成東日本(株)設立  
GDBRインダストリアコメルシオ(有)設立
- 2014 豊田合成イラブアトメキシコ(株)設立
- 2016 豊田合成ミンダインディア(株)  
パワル工場稼働
- 2018 豊田合成ミンダインディア(株)  
グジャラート工場稼働  
(株)豊田合成インドネシア設立



- 2019 湖北豊田合成正奥橡塑密封科技  
有限公司設立  
豊田合成ハイフォン(有)  
タイビン工場稼働
- 2020 いなべ工場稼働
- 2021 タベックスメキシカーナ(株)  
モンテレイ工場稼働
- 2022 豊田合成東日本(株)  
大衡工場稼働

## 2010

- 2003 2色成形オープニングトリム

- 2010 軽量オープニングトリム  
ウェザーストリップ



- 2017 フラッシュサーフェイスドア対応ガラスラン

- 2003 ミリ波対応エンブレム

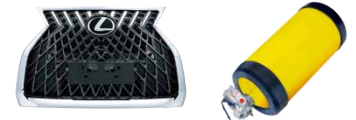
- 2008 樹脂フューエルフィルターパイプ



- 2014 樹脂ウォーターパイプ
- 2015 キャップレス給油口
- 2017 大型ラジエータグリル
- 2018 LED照明付きエアコンレジスター
- 2019 樹脂ターボダクト  
バッテリーケース



- 2020 超大型スピンドルグリル、高圧水素タンク



- 2002 運転席ニーエアバッグ

- 2008 後突エアバッグ



- 2012 ポップアップフードアクチュエータ
- 2015 警告機能付ハンドル
- 2017 グリップセンサー付きハンドル、  
新型サイドエアバッグ



- 2021 新構造の運転席エアバッグ、  
歩行者保護エアバッグ



- 2009 後席センターエアバッグ

- 2001 白色LED
- 2004 白色サイドビューパッケージ
- 2007 e-Rubberの研究開発開始

- 2010 GaNパワー半導体の研究開発開始
- 2014 赤崎教授、天野教授(当社技術顧問)  
ノーベル物理学賞受賞
- 2019 e-Rubberを用いた心臓手術シミュレータ  
「SupeR BEAT」をEBM社と開発

- 2020 新型コロナウイルス不活化に対する  
UV-C(深紫外線)LEDの高い有効性を確認  
UV-C空間除菌装置



- 2021 UV-C高速表面除菌装置

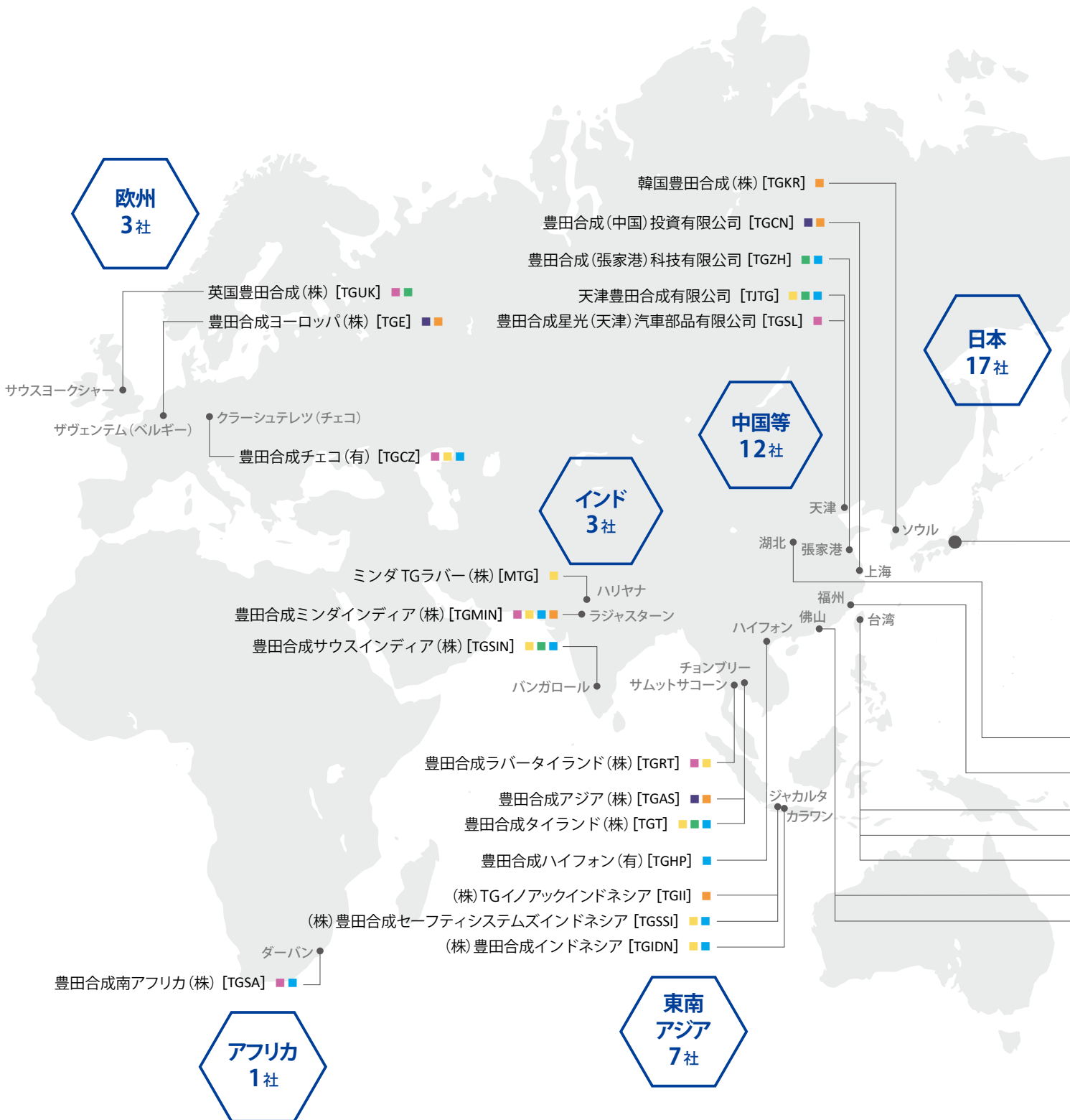


# グローバルネットワーク

(2022年6月16日現在)

17ヵ国/地域の61のグループ会社\*でお客様のニーズにタイムリーにお応えします。

各地域に密着した営業・技術体制とグローバルで最適な生産・納入体制を整えています。\*連結対象会社





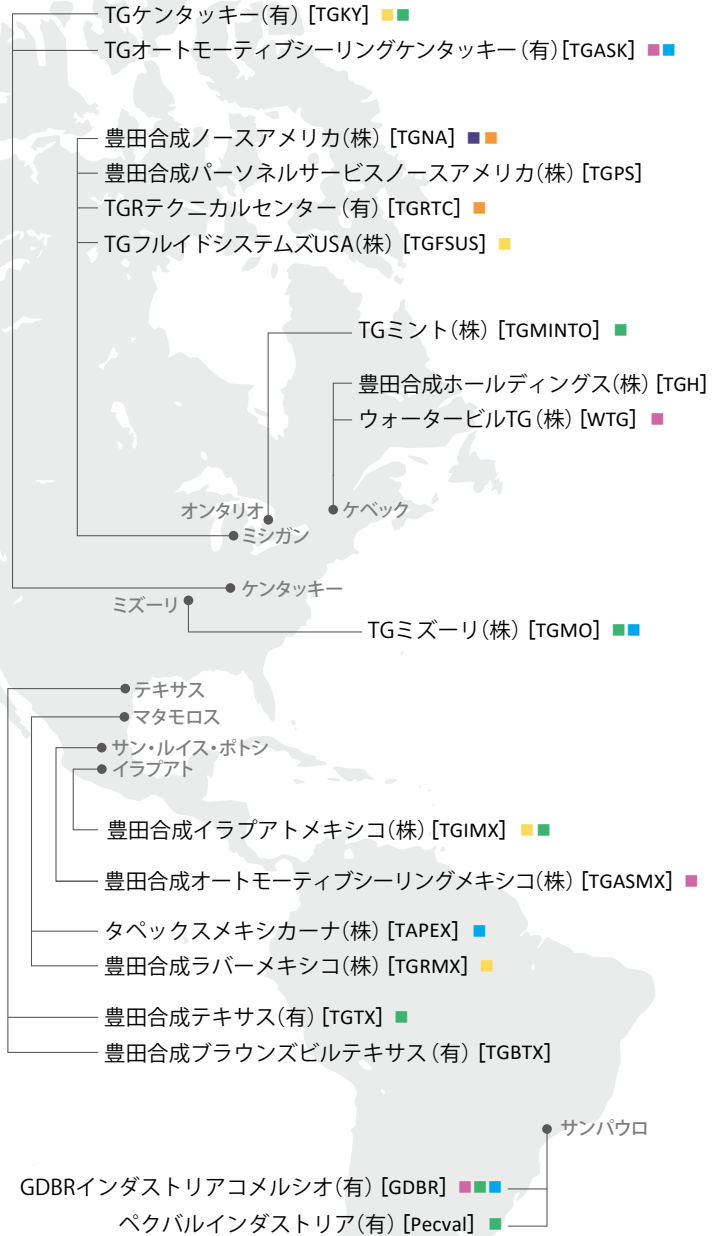
生産品目／機能

- ウェザストリップ製品
- 機能部品
- 内外装部品
- セーフティシステム製品
- オプトエレクトロニクス製品
- 特機製品
- 統括拠点
- 営業・技術開発拠点
- [ ] 内は略称

- 豊田合成(株) ■■■■□■
- 一榮工業(株) ■
- 豊田合成日乃出(株) ■■
- 豊信合成(株) ■■
- 豊田合成インテリア・マニュファクチャリング(株) ■
- 海洋ゴム(株) ■■
- TGウェルフェア(株)
- TGロジスティクス(株)
- (株)テクノアートリサーチ ■
- TGメンテナンス(株)
- ティージーオープンシード(株) ■
- (株)FTS ■
- TGAP(株) ■
- TGテクノ(株) ■
- (株)中勢ゴム ■■
- 豊田合成東日本(株) ■■
- 豊田合成九州(株) ■■■■

- 湖北豊田合成正奥橡塑密封科技有限公司 [TGZA] ■
- 福州福裕橡塑工業有限公司 [FZFY] ■
- 台裕橡膠工業(株) [TY] ■■
- 豊裕(株) [FY] ■■
- 豊晶光電(株) [TEOP] ■
- 豊田合成(佛山) 橡塑有限公司 [TGFR] ■■
- 豊田合成(佛山) 汽車部品有限公司 [TGFP] ■■

北米  
16社



南米  
2社

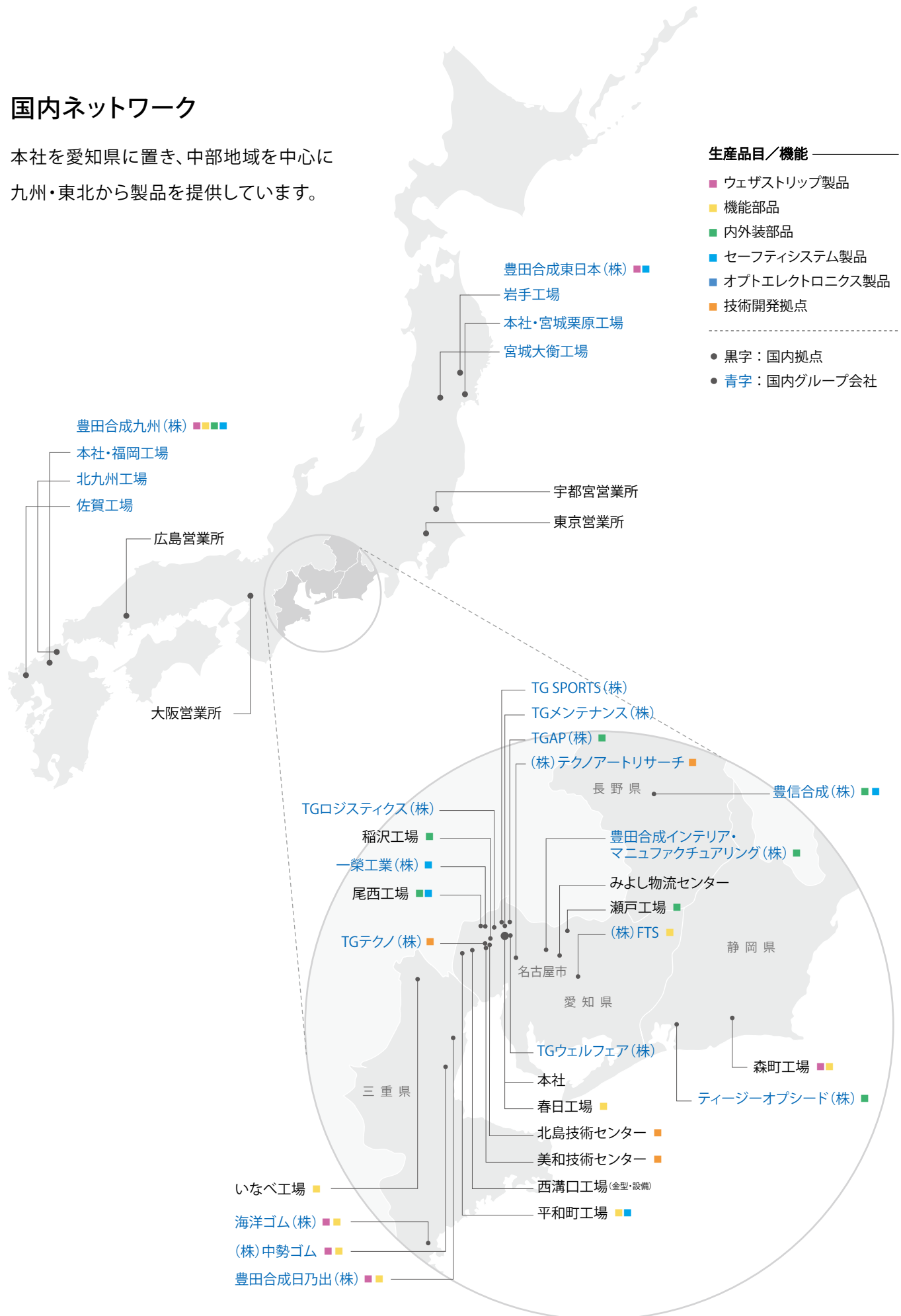
# 国内ネットワーク

本社を愛知県に置き、中部地域を中心に九州・東北から製品を提供しています。

## 生産品目／機能

- ウェザストリップ製品
- 機能部品
- 内外装部品
- セーフティシステム製品
- オプトエレクトロニクス製品
- 技術開発拠点

- 黒字：国内拠点
- 青字：国内グループ会社





# 会社データ

## 会社概要

会社名 豊田合成株式会社      設立 1949年6月15日      資本金 280億円  
従業員数 39,511名(2021年度連結)      売上収益 8,302億円(2021年度連結)

## 役員一覧 (2022年6月16日現在)



取締役社長  
小山 享



取締役副社長  
山田 友宣



取締役・執行役員  
安田 洋



取締役・執行役員  
岡 正規



取締役・執行役員  
石川 卓



取締役  
宮崎 直樹



社外取締役  
土屋 総二郎



社外取締役  
山家 公雄



社外取締役  
松本 真由美



常勤監査役  
大磯 健二



常勤監査役  
鈴木 山人



社外監査役  
加古 慈



社外監査役  
三宅 英臣



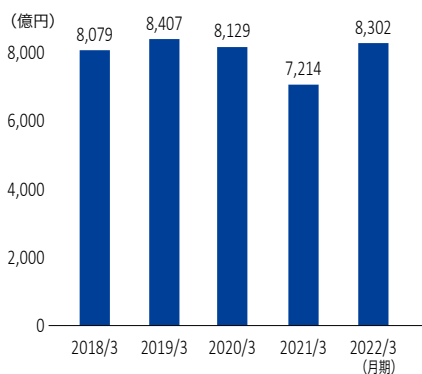
社外監査役  
桑山 斉

執行役員  
大西 亮      藤田 佳幸      財津 裕真  
小笠原 豊      山本 直      苗代 光博  
長谷川 真人      斉藤 克己      林 賢士

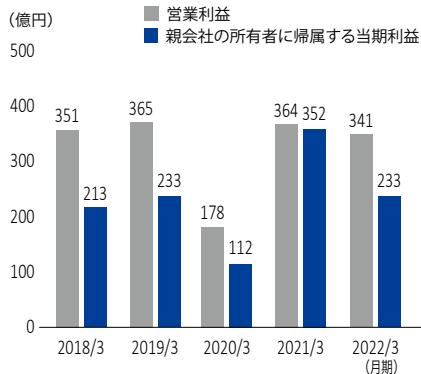
## 財務データ

※当社グループは2019年3月期第1四半期連結累計期間よりIFRSを適用しています。  
また、2018年3月期についてもIFRSベースに組み替えた数値を記載しています。

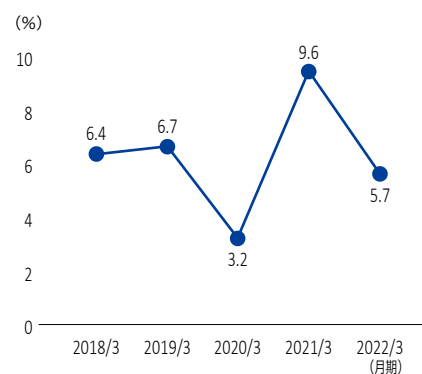
### 売上収益



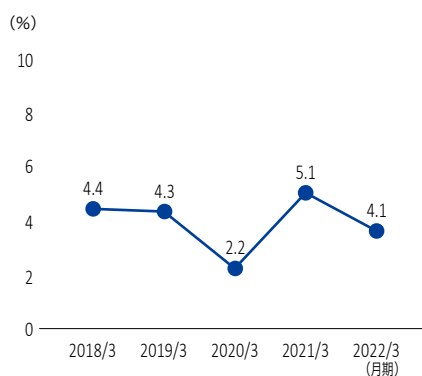
### 営業利益/ 親会社の所有者に帰属する当期利益



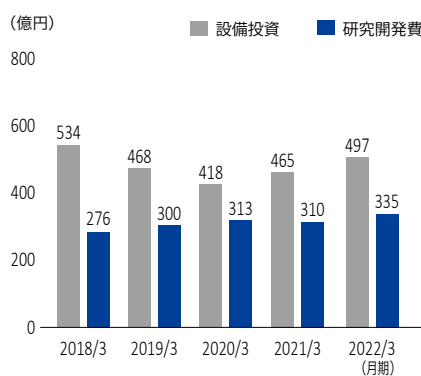
### ROE



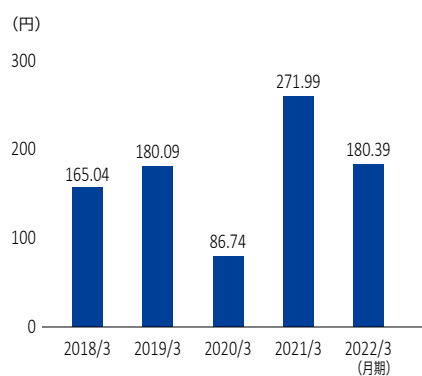
### 営業利益率



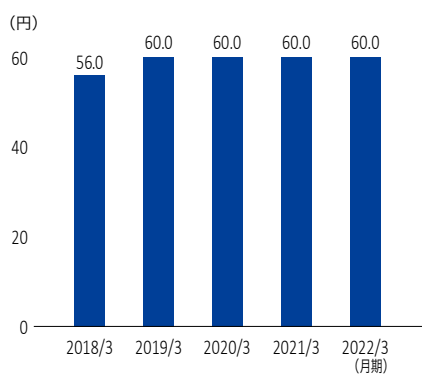
### 設備投資/研究開発費



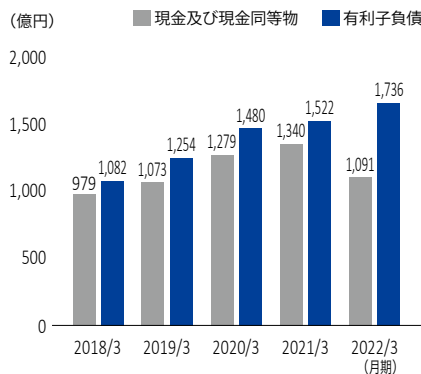
### 基本的1株当たり当期利益



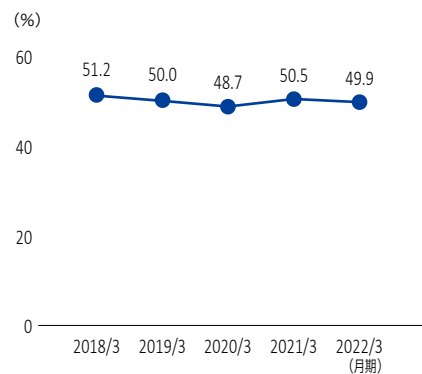
### 1株当たり配当金



### 現金及び現金同等物/有利子負債



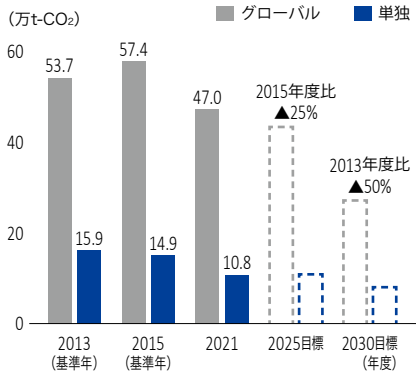
### 親会社所有者帰属持分比率



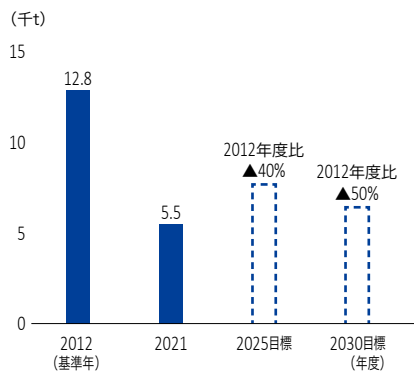
# 非財務データ

## 環境<E>

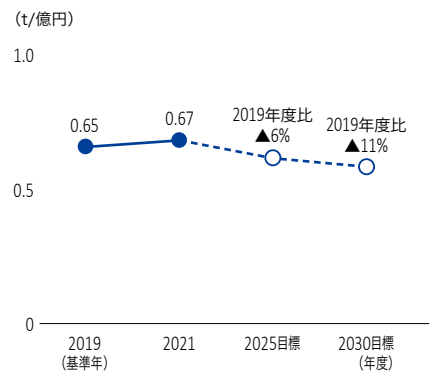
### CO<sub>2</sub>排出量



### 廃棄物量[単独]

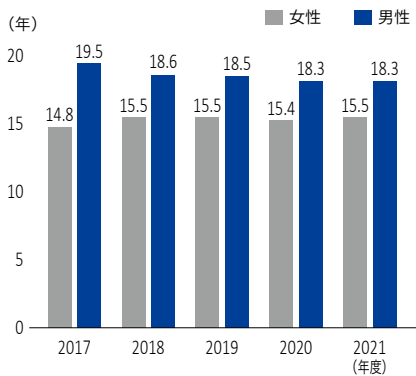


### 売上高当り取水量[単独]

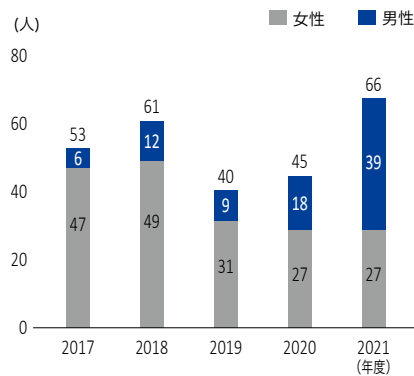


## 社会<S>

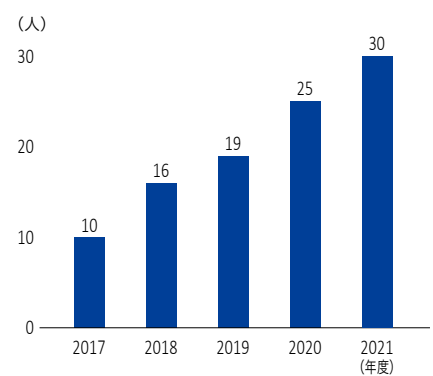
### 男女別平均勤続年数[単独]



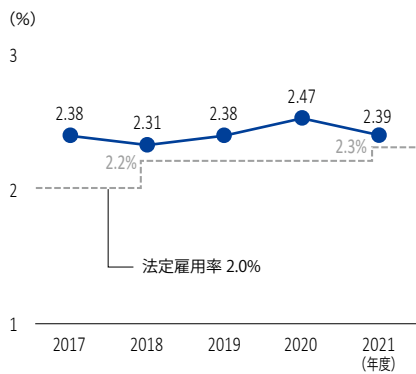
### 男女別育児休業取得数[単独]



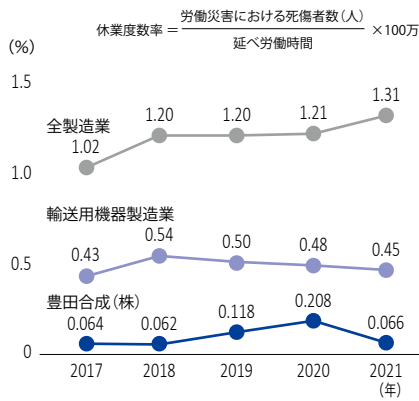
### 女性管理職者数[単独]



### 障がい者雇用率[国内]

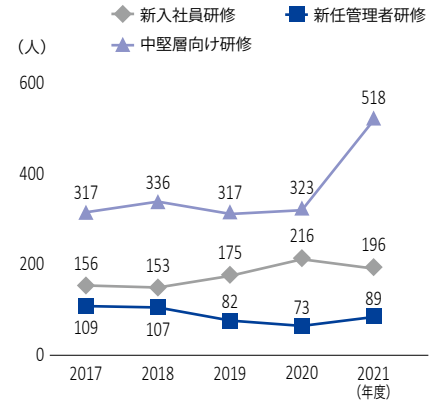


### 労働災害発生率(休業度数率)[国内]



## ガバナンス<G>

### コンプライアンス研修受講者数[国内]



# 豊田合成株式会社

〒452-8564 愛知県清須市春日長畑1番地  
Tel:052-400-1055 Fax:052-409-7491  
<https://www.toyoda-gosei.co.jp/>

2022.06.6,000 TP Japan